

第5回南高教養アップ講座

講師 愛媛大学教育学部家政教育 竹下 浩子 准教授

演題 「消費生活から地球環境の問題を考える ― みつろうラップをつくってみよう ―」

【要旨】 近年、私たち消費者の地球環境に与える影響が問題視されています。例えば、食生活の面から考えても、食品ロス問題やフードマイレージの問題など様々なものがあり、これらの地球規模の問題について一人一人が考えていく必要があります。講義では、食品ラップの問題についてみんなで話し合い、地球にやさしいラップとして注目されている「みつろうラップ」を実際に製作します。環境問題について何か行動したいと考えている人の一助になればと思います。

【生徒の感想】

- ラップにも様々な種類があること、蜜蝋ラップというものを初めて知りました。授業では見たり聞いたりすることのできない話題や問題があり、とても勉強になりました。
- 日本での大量生産、廃棄が海外での環境問題、人権問題を引き起こしていること知り、ラップを利用する責任をもっと持たなければいけないと感じた。
- 実験を踏まえてスライドを使って説明してくださって、とても分かりやすかったです。
- SDGsについてもあやふやな知識だったので、改めて学び直すことができました。
- 今回はラップを例に挙げて環境問題について考えた。家庭レベルから国際的な観点につなげるというのがとても面白く興味深かった。
- 想像よりも簡単に作ることができて驚いた。好きな布で手軽に作れるので、使ってみてもっと作りたくなったら家族と作ってみたい。蜜蝋ラップにも弱点はあるので良い使いどころも探したい。
- アイロンをかけるだけで作ることができ、とても簡単に作れることが分かった。使うものも天然のもので非常に環境にいいことがよく分かった。
- どのラップにも利点欠点があるため、使い方を考えなければならないと思いました。そのため再利用でき、環境にやさしい蜜蝋ラップはいいアイデアだと思いました。
- とても簡単な作業で作れる上、布の柄やサイズを変えると様々な種類を作れるのでとてもいいと思います。材料も天然のものなので安心して使えます。
- 今までラップそれぞれの性質が違っていたり、素材が違っていたりすることを知らなかったし、気にしてこなかったのがこれからそういったことを意識して買い物をしたいです。
- 今の地球環境を守っていくために、ただ綺麗ごとを言うだけでなく、自分自身でできる具体的な行動をしていきたいと思った。
- 今日作った蜜蝋ラップを家に持ち帰って、家族に使い捨てるのもったいなさを分かってもらいたい。